

**一般社団法人日本コンクリート診断士会**  
**第3回定時社員総会議事録**

1. 日時：平成24年5月29日（火） 14:40～16:00
2. 場所：公益社団法人 日本コンクリート工学会 11階会議室
3. 資料：
  - (1) 一般社団法人日本コンクリート診断士会定時社員総会
  - (2) 第1号議案：平成23年度事業および収支報告
  - (3) 第2号議案：平成24年度事業および収支計画
  - (4) 第3号議案：役員改選
  - (5) 報告-1：各地区コンクリート診断士会平成23年度活動報告と24年度活動計画
  - (6) 報告-2：会員数報告
  - (7) 報告-3：サステナビリティ委員会・宣言WG報告
  - (8) 報告-4：その他

4. 出席者数

学術・正会員出席者数:当日出席 53名(64名)+委任状出席 448名  
計 501名(3月31日現在議決権数:857名)

賛助会員出席者数: 3名

法人会員出席者数: 7名

メディア関係: 1名(セメントジャーナル)

( )内は最終出席者数である。

5. 議事

- 5.1 開会宣言:開会を司会の小野理事が行い、総会成立について定数の確認が行われ出席53名、委任状出席448名の501名で、総会成立要件429名(議決権数857名の半数)を満たしているとの報告がなされた。
- 5.2 開会の挨拶:林会長から開会の挨拶があった。
- 5.3 議長の選出:定款13条により議長に林会長が選出された。
- 5.4 議案
  - 5.4.1 第1号議案について
    - (1) 資料(2)の第1号議案-1について毎田理事(事務局長)から説明し、とくに広報活動では国交省へのPRは今後の課題であると発言した。
    - (2) 資料(2)の第1号議案-2について井田理事(会計担当)から説明した。
    - (3) 上記の説明に対して次の討議が行われた。

Q1:監査報告書の日付が「23年3月31日」になっているが、「24年」の間違いではないか?  
→「24年」の間違いであるので訂正願いたいと発言した。
    - (4) 上原監事より監査報告がされた。
    - (5) 討議の結果、第1号議案は原案通り承認された。
  - 5.4.2 第2号議案について
    - (1) 資料(3)の第2号議案-1について各担当理事から説明した。
      - ・企画部会:田澤理事から24年度の計画について説明し、今年度はとくにコンクリート診断士の倫理要綱の作成、空白地区の会設立支援を行いたいとの説明をした。

- ・技術部会：奥田理事から24年度の計画について説明した。
- ・広報部会：奈良理事から24年度の計画について、とくに診断士登録者で未入会者に本会を知ってもらうことが重要であるのでこの点を改善していきたいと説明した。
- ・会員担当：名倉理事から24年度の計画について、とくに①現在15地区の会があるが、空白地区の会設立支援に関して隣の県に声を掛けるなどしてほしい、②会員証の発行を2年から5年に変更することなどの説明した。
- ・事務局：毎田理事から24年度の計画について、とくに各部会活動を積極的に行う必要があるなどと説明した。

(2) 資料(3)の第2号議案-2について竹内氏(会計担当候補)から説明した。とくに収入では法人会員の増について、支出では事務局人件費を23年度より増やしていることなど説明した。

(3) 上記の説明に対して異議はなく、第2号議案は原案通り承認された。

#### 5.4.3 第3号議案について

(1) 資料(4)の第3号議案について毎田理事から役員候補者のうち、新任および担当変更の候補者について説明した。

(2) 役員候補者の説明に対して異議はなく、第3号議案は原案通り承認された。

#### 5.5 報告

##### 5.5.1 報告-1について

(1) 資料(5)の報告-1：各地区コンクリート診断士会活動報告と計画について各地区の会会長から報告を行った。各地区の会からの報告の主なトピックスは以下とおりである。

- ・北海道(上原会長)：23年度では、技術部会で診断士の報酬について調査した。
- ・青森(奈良会長)：HPの開設やJCI東北支部と協働して診断士の技術研鑽会を開催した。
- ・新潟(伊藤副会長)：国交省、NEXC Oの講師で技術セミナー開催、新潟県に講師派遣を行った。24年度は、より実践的な事例報告会、見学会を開催したい。
- ・長野(日堂会長)：HPの開設をした。24年度は、他地区の会他との連携をより進めたい。
- ・東京(小野会長)：受験対策講座、技術セミナー、東工大との共同研究などを行った。
- ・石川(奥田会長)：目的の異なる技術セミナー(机上の知識、事例研究)を2回開催している。
- ・福井(石川会長)：北陸3県合同で研修会を開催し320名の参加があり、結果をHPにアップしている。各種自治体の委員会への委員派遣を行うと共に、入札時の有資格者の指名に対して働きかけている。
- ・静岡(名倉会長)：診断士会ヘルメット用ワッペン(50円/枚)を作成し、診断士のPRに努めている。診断士受験講習会を今年度開催予定である。
- ・東海(竹内会長)：23年5月に会を発足しJCDに参加した。今後予定の研修会は、愛知、岐阜、三重と順に開催し、それぞれの特徴を出していく。名古屋では、名古屋大学のニューブリッジ施設を利用した研修を行う予定である。
- ・京滋(長谷川会長)：6/12に名古屋大学のニューブリッジ施設の見学会を予定している。診断士を増やしていくことが重要で、また発注者も勉強熱心であるので我々もそれ以上に勉強しなければと考えている。
- ・鳥取(有本会長)：広報活動の効果が徐々に始まってきた。自治体の検討委員会への委員の参画などを積極的に行っている。
- ・島根(井田会長)：今年度は、出雲大社庁舎耐久診断業務がある。受験準備講習会は測量設計業協会からの依頼で講師派遣を行う。土木学会全国大会で業務の成果を発表予定である。

- ・広島：（今回参加していないので、司会から紹介した。）
- ・高知（原田会長）：コンクリート甲子園に後援参加している。他地区の討論会などへ積極的に参加している。
- ・大分（甲斐事務局長）：講演会は、会員用と一般用の2回開催し、各種の研修会他についてはCPDSを極力発行できるようにしている。空白県の解消に向けて福岡県に働きかけたがうまくいかなかった。熊本県からは問い合わせが来ている。県から講師派遣、調査依頼が来るようになってきた。診断士受験講習については、記述式を対象に実施している。

(2) 報告を承認した。

#### 5.5.2 報告-2について

- (1) 資料(6)の報告-3: 会員数報告について3月31日現在の会員数916名(学術:16名, 正会員:841名(うち, 12名は直接入会, 18名は法人からの登録), 賛助会員59名(うち, 1名は直接入会, 8名は法人からの登録))と事務局から報告を行い, 報告を承認した。

#### 5.5.3 報告-3について

- (1) 資料(7)の報告-3: サステナビリティ委員会・宣言WG報告について木村(TCD)から23年度の活動概要およびコンクリートサステナビリティ宣言の記者発表など報告を行った。今後, JCIの「サステナビリティ委員会・サステナビリティフォーラム」として活動する旨を報告した。
- (2) 報告を承認した。

## 6. 特別講演

- (1) 特別講演が, 下記の通り行われた。

- ・講師: 木村嘉富氏
- ・演題「コンクリート道路橋に関するCAESARの取り組み」
- ・講演時間: 16:10~17:05

講師の紹介の後に講演が開始された。

講演では, とくに道路橋の現状などを写真, 具体的な事例データを元に分かりやすく説明され, 非常に興味深いものであり, とくに興味があったポイントは以下のとおりである。また, 講演の最後に, 講演者から人材育成に関して大学, 高専などから依頼があった場合には協力してほしいとの発言があった。

- ・道路橋の高齢化は人口の高齢化より急激である。橋の寿命も人の寿命のように延ばしたい。
- ・中国での落橋事例の紹介があった。(事例は, 「中国, 橋, 落」をキーワードにして検索すれば出てくる。)
- ・維持管理マニュアルは, CAESARのHPにあるので使ってほしい。また, 実構造物のデータもHPにある。
- ・どこをどのように調査するのが重要である。とくに, 鉄筋が多い場合には面的にはく離しており, 外観では分かりにくいことが多い。かぶりの影響は大きいので重要な調査項目である。
- ・排水管からの水漏れが原因で塩害劣化した場合もあり, 水を止めることは重要なことである。塩害では予防保全が, ASRでは水の当たる部分が要注意である。
- ・1994年にPCのグラウト規準が改定されており, それ以前のもの, とくにPCは錆びると注意が必要である。

- (2) 講演に対して次の質疑があった。

Q1: 先ほどの講演の中の写真で, 劣化講習会などで使ってもよい写真はあるか?

→①橋梁の名前を出さないで使用する, ②資料として配付する場合には事前に了解を取る, ③国交省のHPにあるものはOKではないか。ただし, 出典を明記することは必要である。

文責: 木村(事務局)

## 総会議事録捺印

- |               |        |   |
|---------------|--------|---|
| 1. 理事・会長      | 林 静雄   | 印 |
| 2. 理事・副会長     | 小野 定   | 印 |
| 3. 理事・副会長     | 佐藤 嘉昭  | 印 |
| 4. 理事・企画部会長   | 田澤 雄二郎 | 印 |
| 5. 理事・企画部会副会長 | 石川 裕夏  | 印 |
| 6. 理事・技術部会長   | 奥田 由法  | 印 |
| 7. 理事・技術部会副会長 | 有本 尚巳  | 印 |
| 8. 理事・広報部会会長  | 奈良 裕   | 印 |
| 9. 理事・広報部会副会長 | 長谷川 光弘 | 印 |
| 10. 理事・会員担当   | 名倉 昭三  | 印 |
| 11. 理事・会計担当   | 井田 豊   | 印 |
| 12. 理事・会員担当   | 日堂 俊之  | 印 |
| 13. 理事・会員担当   | 原田 隆敏  | 印 |
| 14. 理事・会計担当   | 竹内 祥一  | 印 |
| 15. 理事・事務局長   | 毎田 敏郎  | 印 |
| 16. 監事        | 上原 泰正  | 印 |
| 17. 監事        | 伊藤 司郎  | 印 |